

公 開 シ ン ポ ジ ウ ム

海外調査地 開拓 のすすめ

プログラム

挨拶

河合香吏
(東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所)

趣旨説明

中川尚史 (京都大学大学院理学研究科)

ガーナ・モレ国立公園

における
パタスモンキーの調査地開拓

半沢真帆 (京都大学大学院理学研究科)

トルコ共和国における

アレヴィーの調査地開拓

今城尚彦 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)

質疑応答

マレーシア・キナバタンガン地域における

テングザルの調査地開拓

松田一希 (京都大学野生動物研究センター)

東アフリカ牧畜民の調査地開拓：

ケニアのチャムスとウガンダのドドス

河合香吏 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)

質疑応答

コメント1：ガボン・ムカラバにおける

大型類人猿の長期継続調査

竹ノ下祐二 (中部学院大学看護リハビリテーション学部)

コメント2：ボツワナ・ハンシー地区における

グイ/ガナの長期継続調査

高田明 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科)

総合討論

本シンポジウムは、霊長類学、生態人類学、文化人類学それぞれの分野から、アジア、あるいはアフリカで海外調査地を開拓された若手、中堅以上の方々に登壇いただき、そのノウハウや醍醐味を披露いただき、そして、継続調査地におけるリーダーからコメントを頂戴したうえで議論することにより、特に若手の研究者が新たな海外調査地開拓に乗り出す助としたい。

使用言語

日本語

参加費

無料

場所

ハイブリッド開催

東京外国語大学

アジア・アフリカ言語文化研究所3階303室

および Zoom

日時

2023 **7.22** 土
13:00~17:00

申し込み方法

事前申し込みが必要です

下記QRコードからお申し込みください

申込期限：2023年7月17日まで

※ただし、旅費申請・情報交換会の申込期限は、2023年6月25日まで

<https://sociality.aa-ken.jp/>



注意事項：
●記載事項に留意して、上記QRコードから参加登録および情報交換会への参加の有無を登録してください
●学部生、大学院生に限り、希望者に旅費を補助します。旅費の申請方法は上記URLおよびQRコードからご確認ください。
※予算の都合上、補助する金額の調整を行うことがあります



17:30~19:30 情報交換会

シンポジウム終了後に、
東京外国語大学・学生会館ホールで
行います

対象：シンポジウム参加者
(学生・なんらかの形で研究に携わっている方)

参加費：1,000円

※情報交換会の申込期限は、
2023年6月25日まで

問い合わせ先 社会性科研事務局 sociality.oe@gmail.com

主催：科学研究費補助金基盤研究(S)「社会性の起原と進化：人類学と霊長類学の協働に基づく人類進化理論の刷新」(研究代表者：河合香吏)
共催：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・基幹研究人類学「社会性の人類学的探究：トランスカルチャー状況と寛容/不寛容の機序」
写真提供：(上段)高田明、竹ノ下祐二(中段)松田一希、今城尚彦、田村大也
(下段)中川尚史、河合香吏

